

環境に係る情報協議会

国営施設機能保全事業 風連地区

1. 事業の概要(案)

本地区の水利施設は、昭和44年度～61年度に行われた直轄かんがい排水事業「風連地区」により整備されたが近年、施設の機能低下が進行してきており、それに伴う維持管理の負担が増大してきている。

このため、本事業は、施設の機能低下が生じているダム・頭首工・用水路について機能保全対策を実施することにより、施設の長寿命化及び維持管理にかかる負担軽減を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資する事を目的とするものである。

- ・ダム 2箇所（補修）
- ・頭首工 1箇所（補修）
- ・用水路 2条 L=4.9km（補修）

2. 地域の環境に対する考え方 （名寄市田園環境整備マスタープランより）

◇農村環境の現状

- ・名寄市は名寄盆地のほぼ中央に位置し、南北に連なる緑豊かな北見山地など山々に囲まれており、天塩川を中心とした水辺空間と調和した美しい景観を形成している。
- ・農業生産基盤である水田や畑は、食料生産以外にそれぞれ美しい牧歌的な田園景観を形成し、人々に安らぎを提供している。

◇農村環境の課題

- ・多様な生物が生息・生育する水辺を保全するとともに、豊かな自然と調和した水辺の創造と、市街地周辺に広がる農地の保全を推進する必要がある。

3. 環境配慮計画

①水質保全のための仮設工配置(施工時の配慮)

- ・ダム取水塔や頭首工ゲート類の再塗装の際は、外囲いを配置して、塗料や削りカスが河川へ流出しないようにする。
- ・用水路の補修工事は、基本的にドライ状態で実施することとするが、雨天時でも、濁水が流下しないように濁水処理施設を配置する。
- ・工事前後及び実施期間中は、水質のモニタリング調査を行う。

②景観へ配慮した塗装色の選定(設計時の配慮)

- ・ダム取水塔や頭首工ゲート類の再塗装の際は、水や農地及び山林等の周辺景観との調和に配慮し決定する。
- ・その際は、地域の環境保全活動団体や専門家も交え検討する。